

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本

2024年本屋大賞

本屋大賞

大賞

『成瀬は天下を取りに行く』
宮島未奈(新潮社)

2位 『水車小屋のネネ』

津村記久子(毎日新聞出版)

3位 『存在のすべてを』

塩田武士(朝日新聞出版)

4位 『スピノザの診察室』

夏川草介(水鈴社)

6位 『黄色い家』

川上未映子(中央公論新社)

5位 『レーエンデ国物語』

多崎礼(講談社)

8位 『星を編む』

凧良ゆう(講談社)

7位 『リカバリィ・カバヒコ』

青山美智子(光文社)

9位 『放課後ミステリクラブ』

1 金魚の泳ぐプール事件』

知念実希人(ライツ社)

10位 『君が手にするはずだった黄金について』

小川哲(新潮社)

全国書店員の投票で選ばれたベスト10

2022年12月〜2023年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、

書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

NOLTY®

Supported by

手帳ブランドNOLTY [ノルティ] は本屋大賞を応援しています。